

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 6 日

評価対象事業		評価者	秘書課長	小林 昭嗣
共創-08	実施事業	秘書事務	■ 自治事務	主管課 秘書課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	理事者等
意図	理事者の日々の活動をサポートするため。
効果	理事者の日程管理及び交際を円滑に進める。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

・理事者の日程管理及びその交際に係る管理業務を行った。
-----------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ					・各年3月31日 (住民基本台帳)
人口	176,308人	176,436人	人口	176,608人	
世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	83,058世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況					
決算値(千円)	5,150	4,859	当初予算(千円)	6,686	
国県支出金			国県支出金		
地方債			地方債		
その他			その他	1	
一般財源	5,150	4,859	一般財源	6,685	
人員配置数	3.5	3.5	人員配置数	3.5	
人件費(千円)	29,140	28,873	人件費(千円)	29,676	
総事業費(千円)	34,290	33,732	総事業費(千円)	36,362	
市民1人当りの経費(円)	194	191	市民1人当りの経費(円)	206	
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 理事者の日々の活動をサポートするに当たり、海外からの賓客や他市長の来訪も増えていることから、現在の予算規模は適正であると判断し、現状維持とした。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	理事者の日々の活動をサポートすることで、理事者が職務に専念できるような環境づくりに努めた。 理事者の日程管理及び交際について、より円滑に進め、市政に資するよう努めていく。	

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	海外からの賓客や他市長の来訪が増えていることから、目的に沿った日程を組むことについて検討を要した。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	賓客から丁寧に目的等を伺い、必要に応じ担当課と調整を行い説明を行ってもらようよう日程を組み対応した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	市長交際費の状況(上段:R2当初、下段:H30決算、単位:円)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	
他市実績	900,000	3,050,000	1,750,000	500,000	1,700,000	2,800,000	500,000	350,000	
	725,170	1,719,079	1,897,453	358,388	1,388,628	1,311,743	0	313,500	
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	令和2年度予算と比較すると、県内19市では、多い方から13番目(少ない方から6番目)であり、人口では多い方から11番目(少ない方から9番目)で、人口規模との比較では、適正な範囲である。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	単位	指標の傾向						備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	
	目標値							
	実績値							
	達成率							
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方								